

石巻市の復興まちづくり (第63回)

このコーナーは、今後の復興まちづくりに関する情報をお知らせします。
今回は、半島沿岸部における高台・内陸の住宅地について、概要や整備状況などを紹介します。

半島沿岸部 高台・内陸住宅地の整備

東日本大震災の津波により半島沿岸部は甚大な被害を受け、沿岸部に暮らす方々の生活に大きな爪痕を残しました。

市は、防災集団移転促進事業により、沿岸部に暮らす方々が将来にわたって安心して生活できる高台・内陸の住宅地を整備しています。平成27年度から入居を開始し、今年度いっぱい
で工事が完了する予定です。

ここでは、今年度完成または完成予定の住宅地を中心に、整備状況やスケジュールを紹介します。

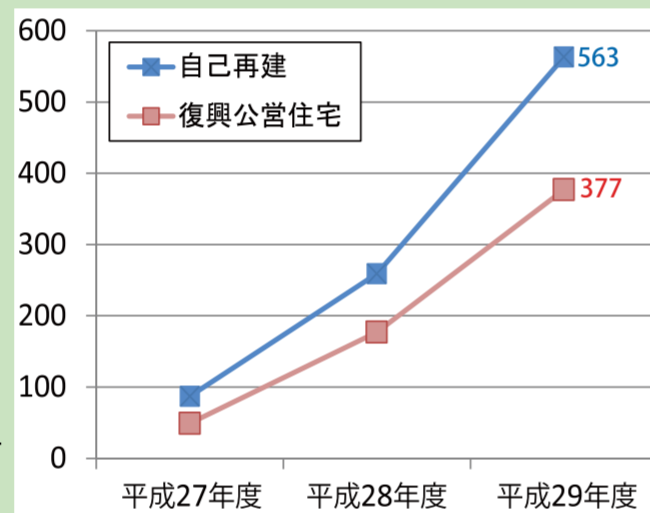
■防災集団移転促進事業の概要(半島沿岸部)

| | |
|-------------|------|
| 整備地区数 | 46地区 |
| 計画戸数(自己再建) | 612戸 |
| 整備済戸数(自己再建) | 563戸 |
| 計画戸数(公営住宅) | 600戸 |
| 整備済戸数(公営住宅) | 377戸 |

(平成29年10月末現在)

「自己再建」は市が土地を整備し、居住される方ご自身が住宅を建てるもの、「公営住宅」は市が建築する公的な賃貸住宅です。

年度別進捗状況(戸数)



■今年度工事完了・完了予定の地区

北上地区(相川) 平成29年7月造成工事完了
自己再建19戸 公営住宅2戸

雄勝地区(中心部) 平成29年7月造成工事完了
自己再建19戸 公営住宅28戸

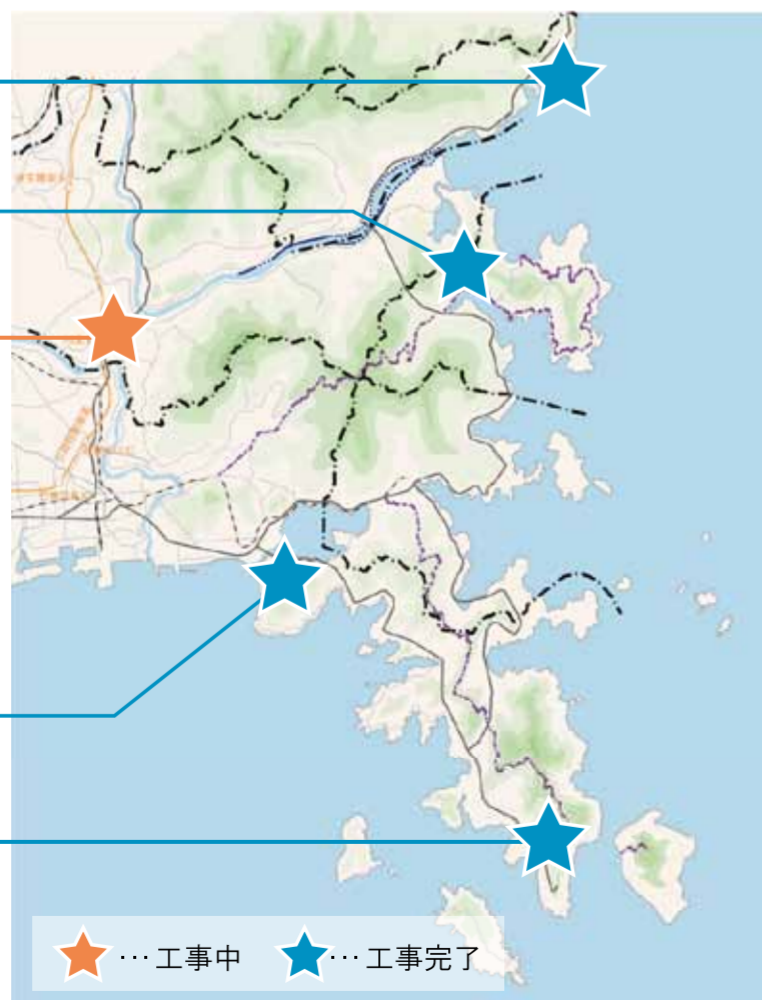
河北地区

- 1工区：平成29年3月造成工事完了
自己再建20戸 公営住宅80戸
- 2工区：平成29年10月造成工事完了
自己再建67戸 公営住宅42戸
- 3工区：平成29年12月造成宅地引渡予定
自己再建48戸 公営住宅104戸

本庁地区(佐須) 平成29年4月造成工事完了
自己再建11戸 公営住宅4戸

牡鹿地区(鮎川浜) 平成29年10月造成工事完了
自己再建15戸 公営住宅45戸

※造成工事が完了した地区の中には、公営住宅を整備中の地区もあります。



造成工事が完了した主な住宅団地

北上地区(相川)



▲相川北



▲相川中

雄勝地区(中心部)



▲伊勢畑



▲船戸

本庁地区(佐須)



▲佐須



▲佐須内の道路

牡鹿地区(鮎川浜)



▲黒崎



▲牡鹿中学校前

河北地区の進捗状況と将来像

河北地区は、河北・雄勝・北上の3地域から300世帯以上が移転し居住する、半島沿岸部最大の住宅団地です。

当地区は、三陸自動車道河北インターチェンジおよび道の駅「上品の郷」に近く、南部には追波川が流れる自然豊かな場所です。地区の中央部には、住民の憩いの場となる大きな公園を整備しています。

完成した区域から順次お住まいいただけるように、第1工区から第3工区に分けて整備を進めており、第1工区は平成29年3月に、第2工区は平成29年10月に造成工事が完了しています。現在は、平成29年12月に第3工区の宅地供給開始に向け、工事を進めています。

■河北地区の変遷

整備前(平成23年10月撮影)



【出典：国土地理院】

平成29年10月現在



河北地区の将来像



土地利用計画図

